

〔本朝食鑑^六林禽〕猿子鳥^訓之古^一

釋名^{鳥性慧利聲亦}喧似猿子^故名

集解猿子大如小鳩而頂前半青後半黃目之前後有紫色條而作上半圈至兩頰作白圓領下亦有紫色而作下半圈自領下至臆亦紫色腹下白背上赤黑有黑斑翅羽灰黑交白嘴脚俱蒼其聲清滑其味不佳官家畜籠以弄之

〔和漢三才圖會^{四十三}林禽〕猿子鳥 正字未詳 俗云末之古

按猿子鳥狀大如雀全體灰黑胸腹淡赤色羽灰黑色而有黑彪尾下兩端白者二其背短而赤黑脚黑頂灰黑自頭至胸淡赤而有白圈如千葉菊花紋鳴聲如曰比字比字轉則曰比字知由留比字知由留猿麻之古鳥 狀似猿子鳥而無菊花紋 照麻之古鳥 狀同猿子鳥而自頰至胸正紅 大^{オホ}麻

凡猿子鳥之屬性黠利而聲亦喧宛然似猿之子故名之蓋麻之者猿猴異名也

〔喚子鳥^下〕粒餌小鳥の分 何にても水を入る

かやましこ ちがひ すり五四分五よし

大ききすゞめにちいさしけ色すゞめにてあかみあり年をかさねてつらくろく外あかみますさるづりほそしまれに出るすくなき類なり

ましこ ちがひ 五のこま 五五分五よし

大ききすゞめにてせの色赤うすくろくうす白き毛もまじりむねはらべのごとく赤しのごとく白きけきくのごとくなりたるをきくましこといひてりのうすきをさるましこといふ年をかさねて毛色さめまらけ悪敷なるさるづりよしよくさへづるはまれなり

はぎましこ ちがひ 右同断
大ましこもいふ